

部課名		保健所保健総務課											
課の使命		・市民が安全で健康的な暮らしが出来るよう支援します。 ・保健所の総務担当課として、所内の業務が円滑に遂行されるよう連絡調整します。また、他部署、他機関との連携が安定的に実施されるよう調整します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	災害時医療救 護体制の整備	発災時に急増する傷病者に対して、医療供給体制を迅速に構築する必要があるため、災害医療にかかわる関係機関と訓練を実施し、市全体の対応能力の向上を図ります。	医療救護活動訓練の回数	1回								
2	事務 事業 見直し 組 む 施策	「ゼロカーボン シティまちだ」	毎年印刷物で周知していた「みんなの医療」をホームページにて更新し、印刷量の削減を図るとともに、SNSにて市民に効果的に普及啓発します。	医療冊子周知回数	4回								
3	個別 計画	適切な医療を受けられる環 境整備	診療所・薬局等の医療提供施設の立入検査を通じて、衛生管理や医療安全管理体制の確認、指導を行い、適切な医療体制の確保を推進します。	新規開設する診療所・薬 局等に対する立入検査 実施率	100%								
4	人材 育成	「チームワーク 志向」	部・課内研修を実施することで、部及び課で業務知識を円滑に継承し、各業務への理解を深め、業務を効率化します。また、相互理解を深めることにより、様々な専門職の専門知識や経験を活用した業務の促進を図ります。	部・課内研修の実施回数	4回								

部課名		保健所健康推進課												
課の使命		市民一人一人が、健やかで自立した生活を送れる様に、健康づくりの取り組みを推進し、安心して過ごせる為の支援を充実させます。												
実行計画(年度目標)														
年度目標設定						中間確認			年度末確認					
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応	
1	重点 事業 プラン	自殺対策の推進	・市民に自殺対策への理解を広く呼びかけ、行動を促すため、民間事業者等、多様な主体と連携した情報発信やキャンペーンの実施などの普及啓発を行います。 ・悩んでいる人に気づき、声を掛け、話を聞き、必要に応じて専門家につなぐゲートキーパーの養成やSNSを活用した自殺防止相談事業、こころ・女性・労働など様々な分野に関する相談を1つの場所で受け付ける総合相談会など自殺防止対策に関する事業を実施します。 ・地域の関係機関等が参加する自殺対策推進委員会と、自殺対策に関連する部署で構成する自殺対策推進庁内連絡会を開催し、町田市が分析した自殺の現状や課題等の共有、各機関・各部署間の連携強化を図り、市を挙げた自殺対策を推進します。	①普及啓発の実施回数 ②ゲートキーパー養成講座の受講者数 ③自殺対策推進委員会及び自殺対策推進庁内連絡会の開催数	①年3回 ②2,800人 ③計4回									
2	個別 計画	がん予防対策の推進	・がんの正しい知識や日常における健康習慣づくりに関する講演会を新たに開催します。 ・市民へのはがきの送付による個別受診勧奨やイベントの開催などを通じて、国の推奨しているがん検診の受診率向上に努めます。 ・町田市医師会とともにがん予防対策を検討する会議を開催し、対策の評価や意見交換等を通じて更なる推進につなげていきます。	①講演会の開催 ②子宮頸がん検診の受診者数【10月分までの速報値】 ③会議の開催回数	①2回 ②6,000人 ③4回									
3	人材 育成	「改革・改善志向」	デジタル媒体の活用や民間事業者等との連携・協力を通じた健康増進、生活習慣病予防等に関する情報発信力の強化に努めます。	①町田市LINE・メール配信サービス「健康づくり情報」の登録者数 ②民間事業者等と連携・協力して実施した情報発信・イベント等の回数	①10,000人 ②25回									
4	事務 事業 見直し	効率的・効果的な受診の推進	・問診が一度で済むことや自己負担額が軽減されるなど、同時受診によるメリットを積極的に発信し、大腸がん検診及び肺がん検診における高い同時受診率の維持・向上を図ることで、効率的・効果的な予算執行に努めていきます。	①大腸がん検診における同時受診率 ②肺がん検診における同時受診率	①90%以上 ②90%以上									
5	全庁で 取り 組む 施策	「子どもにやさしいまちの実現」	健康づくりに関する普及啓発に用いる標語やポスター案を市内の子どもや学生から募集するなど、子どもや若者のアイデアや意見等を活かした取り組みを実施します。	子どもや若者のアイデアや意見等を活かした取り組みの実施件数	5件									

部課名		保健所保健予防課											
課の使命		市民一人ひとりが健やかで安心して過ごせるための支援を充実させます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	分野を横断した食育推進	講演会の開催や農業体験の実施、SNSによる情報発信等、市民や関係団体と連携し、事業を行っています。引き続き、食育とは関わりのない分野とも連携し、庁内各課や関係団体がより一体となった事業展開を目指します。	分野を横断した取り組み件数	1件(2023年度からの延べ6件)								
2	人材 育成	「目的志向」	感染症発生に備え迅速かつ適切に対応できるよう、研修及び訓練の実施により、保健予防課職員及び他課の保健師の育成を図り、感染拡大時の対応力を強化します。	①研修及び訓練の実施回数 ②感染症対応基礎研修の受講率	①4回 ②100%								
3	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	精神疾患やひきこもりなどへの正しい理解や地域での見守り、必要な相談につながるための普及啓発を行います。	普及啓発の実施回数	7回								
4	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	難病患者・家族向け支援サービスの情報が地域に行き届くよう、「難病患者さん・ご家族のためのガイドブック」の普及啓発を行うとともに、ガイドブックをツールとした講話等を通じて難病に対する理解を促します。	ガイドブックの普及啓発実施回数	4回								
5	事務 事業 見直し	予防接種事業デジタル化	2028年度の予防接種事業デジタル化 [※] に向けて、町田市医師会や民間アプリ事業者等の関係団体への調査・協議を実施します。 ※予防接種事業デジタル化 医療保険におけるオンライン資格確認と同様に、マイナンバーカードを用いて接種対象者の確認を行う仕組みです。デジタル化により、市民が接種勧奨の通知をスマートフォンで受け取ることができ、いつでも過去の接種記録を確認することができるようになります。また、全国展開後は、里帰り出産等で住所地以外の区市町村で接種する場合の事前申請等の手続きが不要となります。	予防接種事業デジタル化に係る関連団体への調査・協議の実施	実施								

部課名		保健所保健予防課 母子保健担当											
課の使命		市民一人ひとりが健やかで安心して過ごせるための支援を充実させます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	全庁 で 取り 組 む 施策	「子どもにやさしいまちの実現」	①妊婦とそのパートナーの不安を解消し、安心して出産を迎え、子育てが出来るよう、プレママ・パパクラス(両親学級)を外部委託し、参加を希望するすべての方が受講できるように体制を整えます。 ②産婦健康診査及び1か月児健康診査を実施します。	①外部委託の実施 ②実施	①10月から外部委託の実施 ②10月から実施								
2	全庁 で 取り 組 む 施策	「子どもにやさしいまちの実現」	①妊婦面接やこんにちは赤ちゃん訪問に加え、妊婦のため支援給付を活用した経済的支援と妊娠8か月時点でのアンケートと面接を行う妊婦等包括相談事業を実施し、必要な家庭に支援を行います。 ②産後ケア事業推進のため、妊婦面接やプレママ・パパクラスでの周知を行います。	①出産した人のうち、妊娠中に面接を受けていた人の割合 ②産後ケア利用申請数	①85%以上 ※「まちだ健康づくり推進プラン24-31」で設定している目標値 ②900件以上維持 (「まちだ健康づくりプラン24-31」で設定している目標値 899件)								
3	個別 計画	予防歯科の推進	成人(18～64歳)を対象に、かかりつけ歯科医での定期健診や予防処置の推進を目的とした新たな普及啓発を実施します。	成人を対象とした新たな普及啓発の実施件数	2件								
4	人材 育成	「市民志向」	子育て支援に携わる職員に対して、相談対応能力の向上を図るための研修を実施します。	①回数 ②研修参加人数	①2回 ②50人以上								

部課名		保健所生活衛生課											
課の使命		・生活衛生に関する正しい知識や情報を行き渡らせ、市民の安全で健康的な暮らしの創造を支援します。											
		・生活衛生関係事業者の自主的な衛生管理を推進し、衛生管理が行き届いた安全な生活環境を実現します。											
		・市民・関係団体の相互理解と協調による動物との共生社会を実現します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	動物愛護管理と社会福祉における関係機関との連携強化	高齢者のペット飼育に関する相談やトラブルについて、関係機関等と円滑に連携し対応ができるよう、福祉関係施設等と動物飼育に関する問題や対応事例等について情報共有を行います。対象を福祉関係施設等の上層部(管理部門)から中間層(現場統括等)の職員に拡大し、浸透を図ります。	関係機関と行った連絡会等の回数	4回								
2	個別 計画	食品等事業者による自主的な衛生管理の推進	食中毒等を防止するため食品関連施設に対し計画的に監視指導を行い、自主的な衛生管理を推進します。	町田市食品衛生監視指導計画に基づく立入検査実施率	100%								
3	個別 計画	公衆浴場等における衛生対策の推進	公衆浴場・旅館業の入浴施設及びプール運営施設に立入検査を実施し、設備に応じた適切な衛生対策を指導します。水質検査を実施してレジオネラ属菌が不検出となることを確認します。	立入検査実施率	100%								
4	事務 事業 見直し	仕様の見直し(回数・頻度・手法・水準等)	保健所中町庁舎の管理について、2027年度に予定されている長期継続契約の更新にあわせ、効率的で効果的な管理を目指し、施設管理の仕様の見直しを進め、契約の準備を行います。	施設管理の効率化に向けた仕様の決定	実施								
5	人材 育成	「チームワーク志向」	新しく配属された職員のみならず全職員が、課全体の業務内容を把握し、有事の際などに課内で協力体制がとれるように衛生監視職(獣医師・薬剤師・衛生技術)の人材育成方針の改定を行います。 新規採用職員や異動者等に対して、指導員だけでなく課全体でOJT(基本的な指導・育成)を行いながら、課の各業務及び中町庁舎利用の各種マニュアル等にアクセスしやすいようフォルダの整理、改良を行っていきます。	①衛生監視職(獣医師・薬剤師・衛生技術)の人材育成方針の改定 ②マニュアル等のフォルダの構築	①改定 ②構築								
6	全庁 で取 組む 施策	「ゼロカーボンシティまちだ」	保健所中町庁舎のLED化されていない照明について、LEDへの切り替えを行い、施設のさらなる省エネ化を進めます。	LED照明への切り替え	①箇所の選定 ②2箇所								